

議案第29号 補正予算第3号質疑

- 1) 7月末までに、希望する65歳以上の高齢者への2回目接種までを完了するようと、言われているが、国からの通知はいつ来たのか。
- 2) 対応する予算措置の連絡はいつ来たのか。
- 3) 7月末までの前倒しは困難としていた自治体に対し、様々な圧力がかかったと聞いている。三鷹市においてはどのような状況だったのか。
- 4) 7月末まで完了予定とするコロナワクチン接種実施計画の変更はされたのか。
- 5) 65歳以上41503人、9割接種と見込んでの計画のほすで、その分のワクチンの確保体制は確実なのか、すでに確保しているワクチンはどの程度あるのか。
- 6) ワクチンの保管体制は対応できるだけ十分な状態なのか。
- 7) 杏林大学及び連雀コミセンでの集団接種会場の体制、救急搬送体制、アナフィラキシーショック等への応急処置の体制・必要な薬品確保はされているか。
- 8) コミセン会場や、個別接種での万が一の場合の救急対応への研修等はしているか
- 9) 兵庫県小野市では、他自治体の失敗例をチェックし、ミスを防ぐ努力をしていると報道された。それにもかかわらず、空の注射器で女性職員に接種しようとしたというミスが発生している。

NHK「新型コロナウイルスワクチンの管理や接種のミスが各地で相次ぐ中、兵庫県小野市では、ほかの自治体で起きたミスを教訓に、失敗しない体制づくりに取り組んでいます。」

三鷹市ではどのような取り組みをしているか。

- 10) 杏林会場へはシャトルバスを運行する。無料か。付き添いも乗車可能か。車いす等の対応は可能か。10分間隔で運行する予定だが、乗り切れずに次の便になったり、バスが渋滞するなどして、予約時間に遅れる等の事態への対処等のシミュレーションを行っているか。
- 11) 公用車はその間、旧保健センターに駐車する。職員の負担増にならないか。公用車全体が駐車可能か。
- 12) ワクチンはあくまで任意である。インフルエンザやその他の定期接種に比べると副反応がけた違いに多いのが、コロナワクチンである。6月6日付広報みたかでも2面に副反応について掲載している。このリスクを会場でも伝えているか。
- 13) 特に2回目接種では、翌日に発熱・頭痛が4、5割、動けないようなだるさが7、8割とかなり頻度が高いので、それについての注意事項、その場合の対応方法等の注意書きのようなものを会場で配布しているか。
- 14) 三鷹市内でコロナワクチン副反応被害の報告はどの程度あるのか、把握しているか。

QQ1) コロナワクチン副反応被害は、5月26日の厚生労働省 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、での報告資料によると、アナフィラキシー所多くは943件、接種後の死亡報告は85件となっている。これはインフルエンザの110倍になる。三鷹市はこの情報を把握しているか。

QQ2) ワクチンは、副反応被害等のリスクをゼロにはできないから、あくまでも同意が必要なものであり、希望する人への接種、という形になる。たとえ、市民が世の中の報道等のおおられていたとしても、市は冷静にリスクの情報提供し、判断する材料を提供する必要がある。市独自の情報収集と、銃砲提供が必要ではないか。

## 討論

本議案は、コロナワクチン接種事業において、今までの接種計画1.0に加えて、杏林大学に委託しての1日1000人規模の集団接種会場の設置、及び連雀コミセンでの集団接種の前倒し実施をするために、1億7567万3千円を追加する補正予算です。

4月23日、菅首相が7月末までに新型コロナウイルスワクチンの高齢者への接種を完了させる方針を打ち出したことを受け、厚労省は、5月14日に「各自治体の取り組みを前倒しして加速していただきたい」とする事務報告を出しました。

7月末までの完了は、7月23日から始まるオリンピックに合わせた日程かと思われます。

しかし、新型コロナウイルスワクチンは、今までにないmRNAの遺伝子操作によって製造されているワクチンです。当初から治験を行わずに特例承認をもって接種を始めてきたことから、拙速に事業を進めており、最も重要な安全性についての確認を置き去りにしていると言わざるを得ません。

2月17日から全国で始めたファイザー社製のワクチンについては、厚労省の予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会での、アナフィラキシーショックなどの副反応被害報告は943件、接種後の死亡事例が85件報告されています。死亡の出現率は、インフルエンザワクチンの110倍となっている。

これらの副反応被害や死亡事例についての原因究明や調査などが明確にされないまま、さらに全国で、地上自治体を通して接種を加速しようとしていることは、人命が軽んぜられていると言わざるを得ません。

市長は、先の一般質問への答弁において、ワクチンの安全性について、三鷹市は「検証する力がなく、国にお任せしている」と発言されましたが、厚労省に検証を求め、安全性を担保していくのが自答自治体の仕事なのではないでしょうか。

このまま、多発する副反応や死亡事例に検証することなく、ワクチン接種を加速的に進めていくことは賛同できません。